Office 365(Microsoft 365)のデータ保護がユーザ責任となっている

課題・悩み

- Office365の標準機能のデータ保護が十分ではないため、クラウド基盤障害に起因するデータ消失などに対応できるようにしたい。
  (※https://www.microsoft.com/ja-jp/servicesagreement/)
- 退職者のデータも保持しておくには、その分のO365ユーザ課金を継続する必要があるため、改善したい。

解決策：ユーザ、サイト、グループ単位などでバックアップ・リストアできるNetAppのSaaSサービスを利用する。

a. SaaS backup for Microsoft Office 365
   - Exchange Online, SharePoint Online, OneDrive for Business, Office 365 Groups and Microsoft Teamsをバックアップ可能。
   - バックアップ先はクラウド上のオブジェクトストレージとなる。
   - ユーザ単位、メールボックス単位、メール単位などで別の場所にリストアができるため、退職者のO365アカウントを保持し続ける必要が無い。
   - メール履歴のユーザ操作による削除が発生しても管理者が送受信者アドレスやメール本文の文字列検索によってメールを特定し、復元・追跡可能

キーワード

- SaaS Backup for Microsoft Office 365(サービス)

関連動画・資料

- SaaS Backup - Office 365およびSalesforceのデータ保護
- なぜ企業はOffice 365やSalesforce、Boxのバックアップが必要なのか？
- ネットアップのマイクロソフトOffice365向け バックアップ・アーカイブサービスご紹介
- 事例:M365（O365）丸ごとバックアップ！ お役立ち機能のご紹介

NetApp

© 2020 NetApp, Inc. All rights reserved.